

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【北条北中学校】

< 第1学年：風早を知る（地域ふるさと学習） >

北条の現状を知るために、自然、歴史、文化、産業、福祉、防災などについて、生徒それぞれがテーマを設定し、夏休みから2学期にかけて調べ学習を行いました。

情報発信の方法や手段を工夫するために愛媛新聞社の方に来ていただき、実際の新聞をもとに、記事の書き方や見出しの付け方、レイアウトなど、新聞づくりのノウハウを学びました。この学習で得たことをもとに、調べたことや北条をよりよくするために生徒が考えたことを、愛媛新聞の新聞制作ソフト「クミハン」を使い、各自がまとめました。

家族で海に遊びに行ったときに、海のごみに気づき、「きれいにしたい。」と新聞にまとめた生徒が数名おり、その考えを取り上げ、鹿島での清掃活動を行いました。また、出前教室「海ごみを減らすために私たちにできることを考えよう！」において、愛媛県や瀬戸内海のごみ問題について学びました。さらに、道徳科の授業では、「富士山を守るために」において、身近な自然を守るために自分に何ができるかを考える場面を設定するなど、他教科と関連付けた学習ができました。



< 第3学年：風早と共に生きる（福祉体験学習） >

より良い社会を創るために自分にできることを考え実践するために、福祉体験学習を行いました。松山市社会福祉協議会の協力を得て、「車いすを利用している人の生活と車いすの介助方法について」「高齢者の介助について（高齢者疑似体験&認知症サポーター養成講座）」

「視覚障がいのある人の生活と手話体験について」「点字体験について」の4つの講座を開設して話を聞いたり、体験活動をしたりしました。福祉体験学習を通して、地域の福祉環境を知り、バリアのない社会の実現に向けて私たちに何ができるかを考えることができました。

